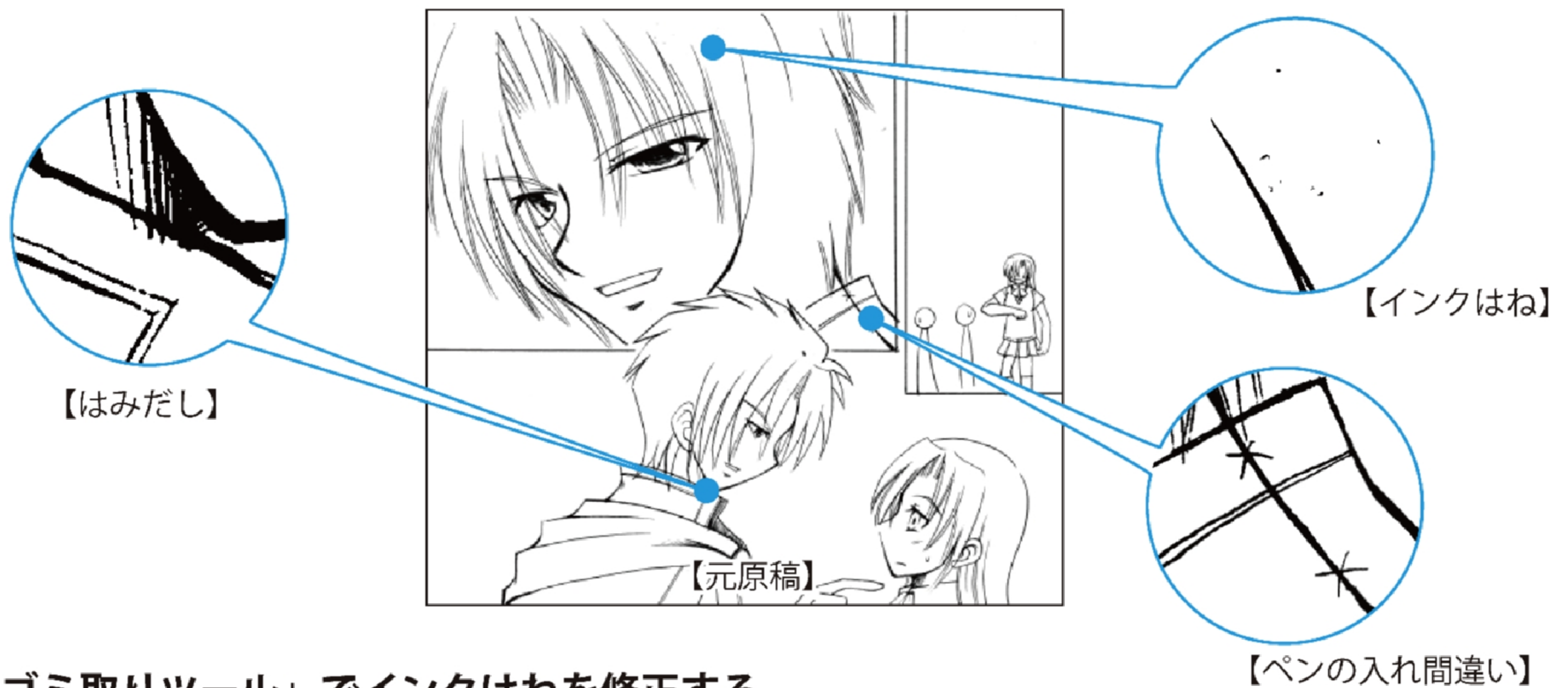




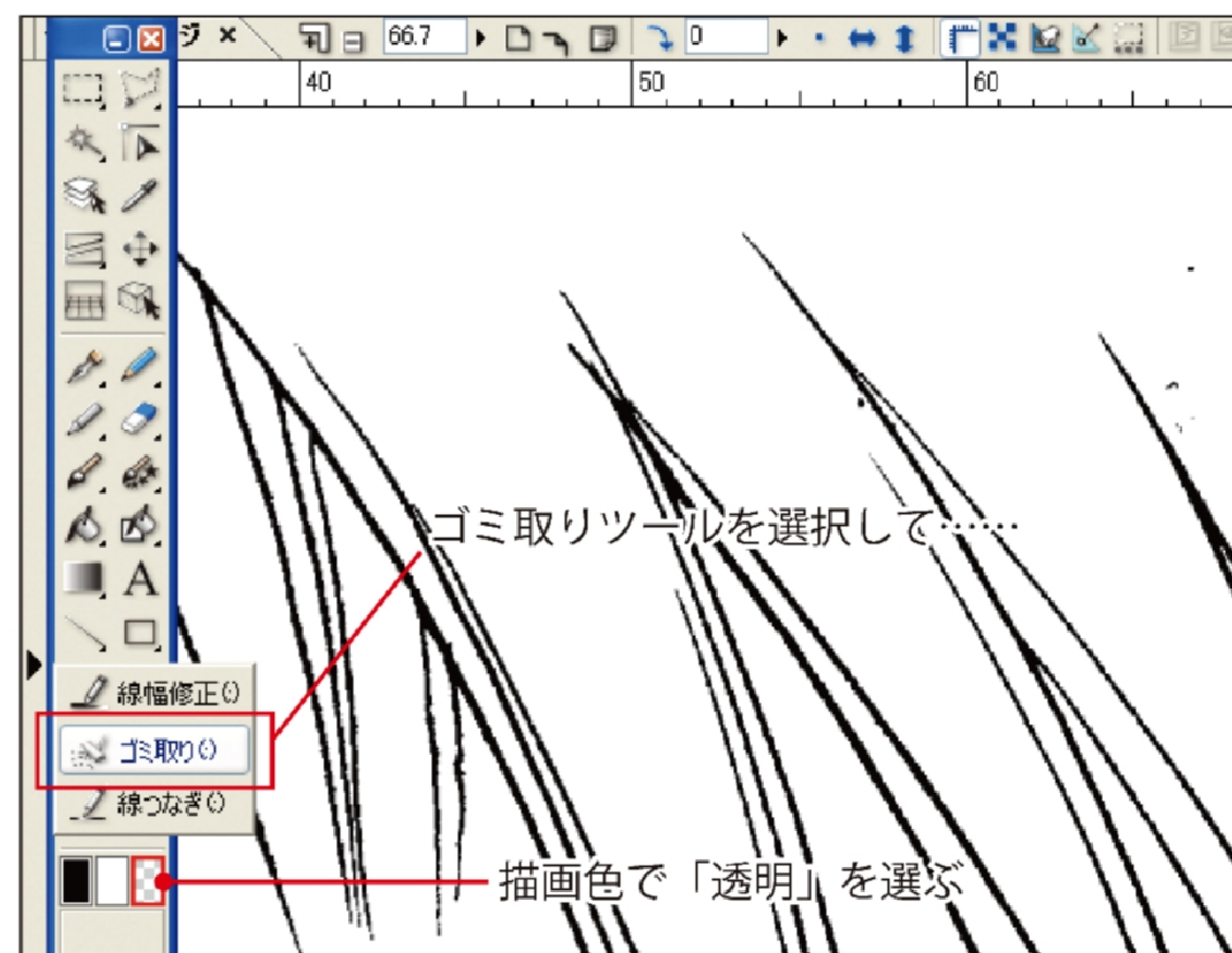
スキャナで原稿を読み込んだら、今度は原稿のゴミ取り&修正です。
ペン入れの時に飛んだインク汚れや、インクのこすれを消しゴムツールなどを使って修正していきます。



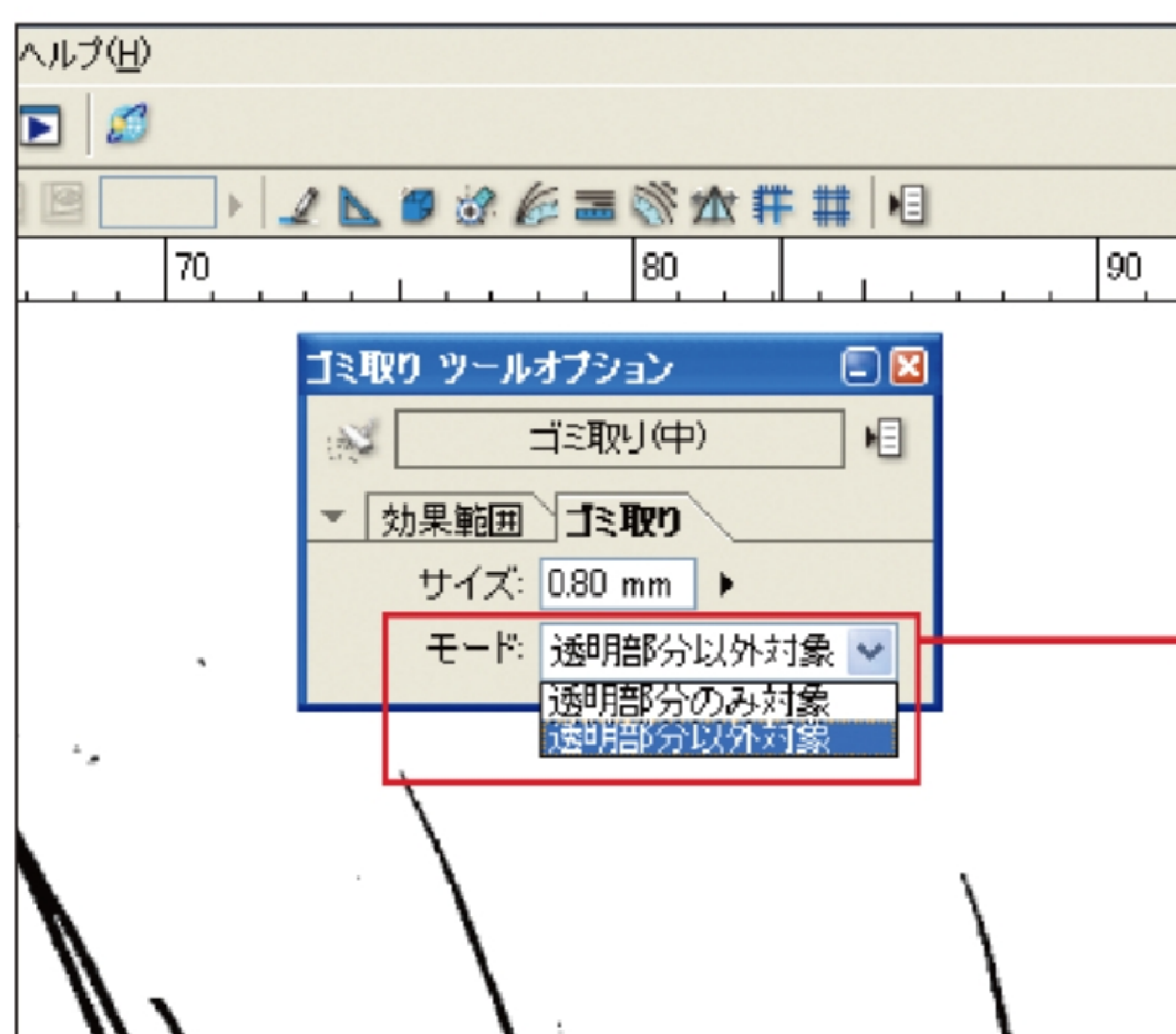
「ゴミ取りツール」でインクはねを修正する

インクが飛び散った汚れや、スキャン時のちっちゃいゴミを消すには、「ゴミ取りツール」が便利です。
「ゴミ取りツール」とは、正確に言うと、『指定したサイズ以下のゴミを指定色で塗りつぶす機能』です。
線には影響を及ぼさず、小さなゴミだけ消すことができます。

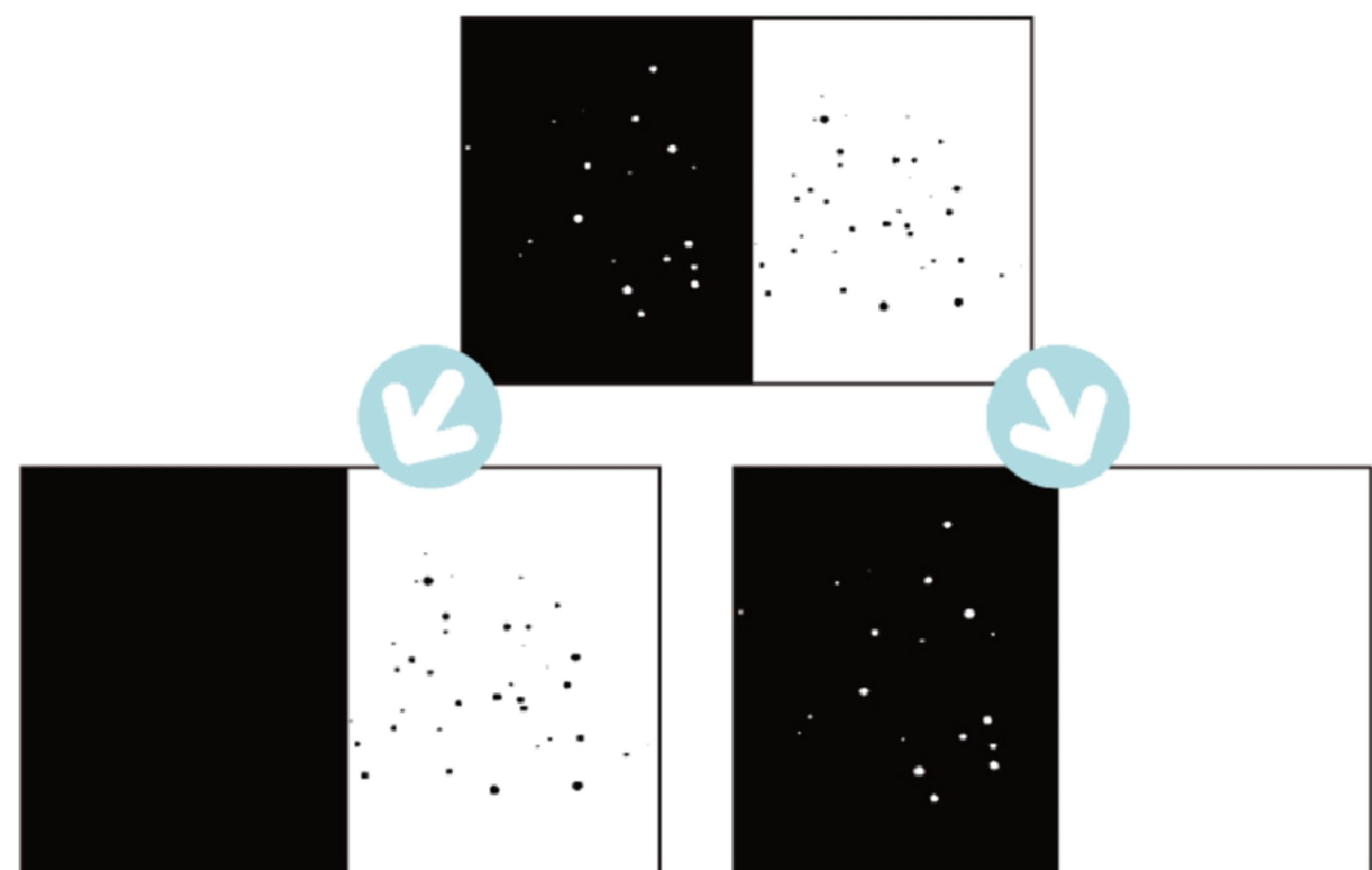
Step1 ゴミ取りツールを選び、描画色透明を選ぶ。



Step2 ツールオプションで、「サイズ」、「モード」を選ぶ。



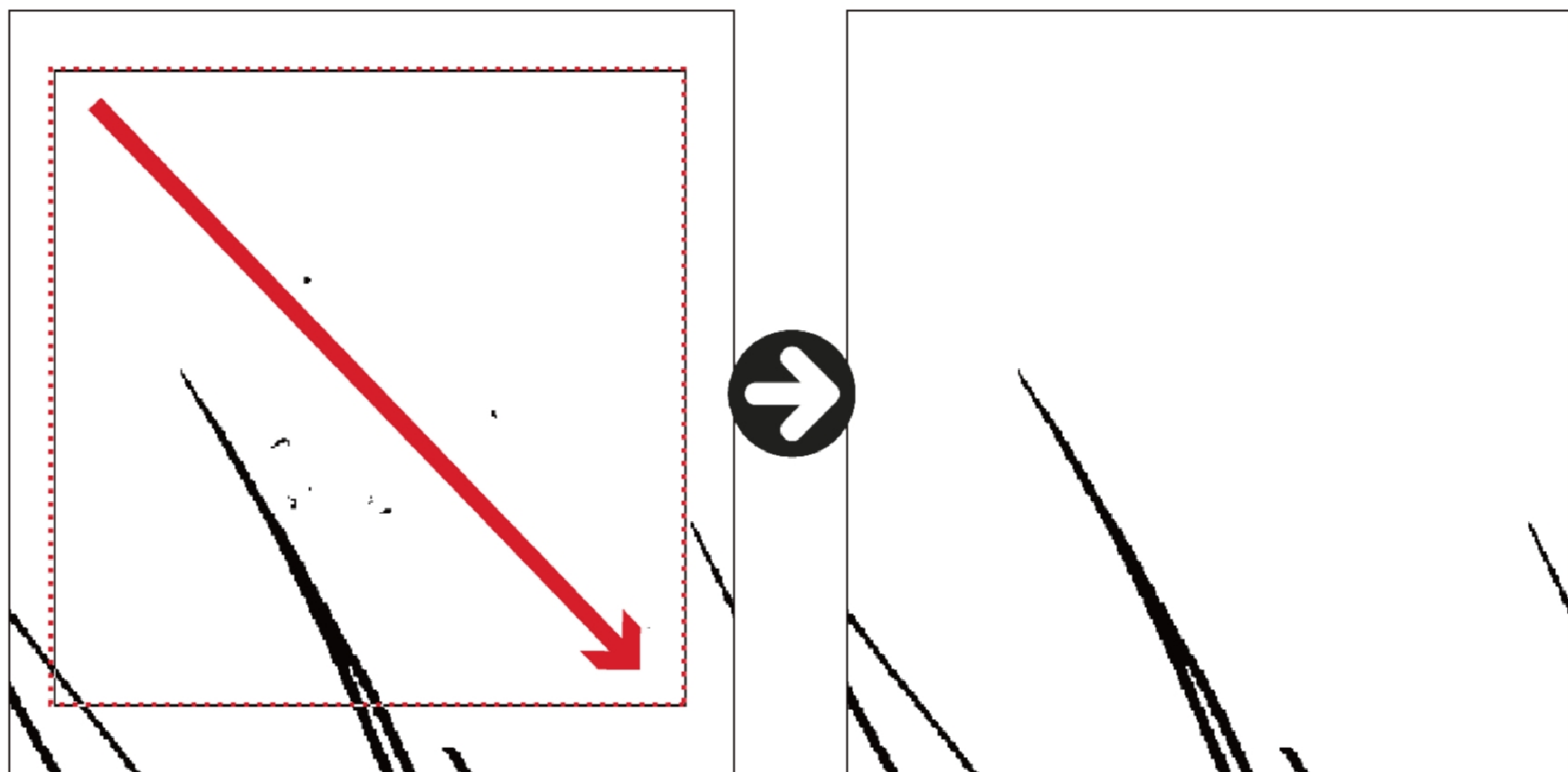
各モードの違い



【透明部分のみ対象】
描画色「黒」にして、
ゴミ取りを実行した場合
透明部分が選択中の描画色
で塗りつぶされる

【透明部分以外対象】
描画色「透明」にして、
ゴミ取りを実行した場合
透明部分以外が選択中の
描画色で塗りつぶされる

Step3 ゴミを取りたい所を選択すると、ゴミが消えます。



※ ただし、「白黒 (2bit)、閾値」以外の設定で読み込んだ場合、レイヤーの設定によっては、上手くゴミがとれない場合があります。

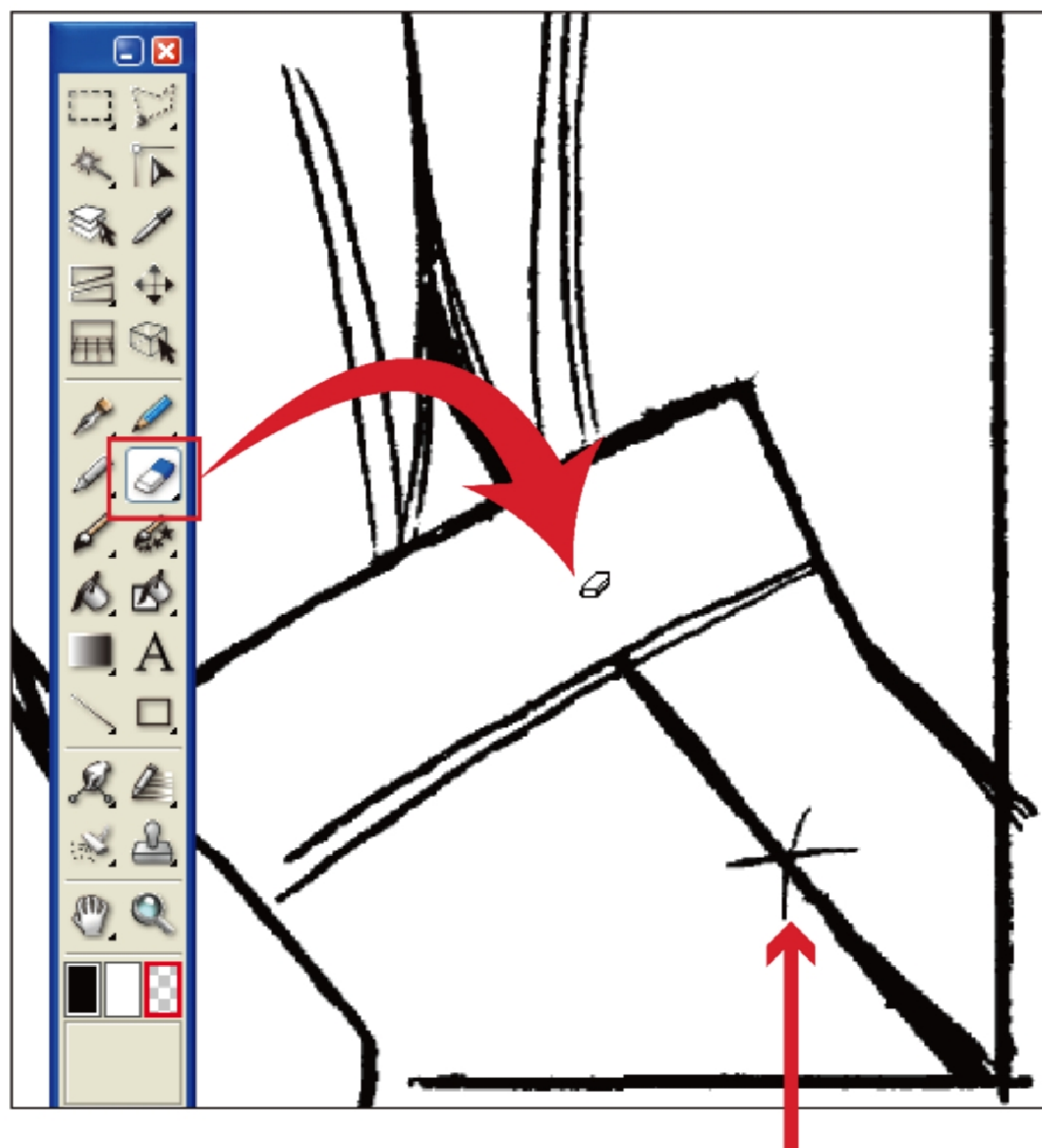
ゴミ取りツールを使って、ゴミを消していきます。

Memo ゴミを一気にとるなら、「ゴミ取りフィルタ」

ページ内のゴミを一気にとるなら、選択したレイヤー全体のゴミ取りができる「ゴミ取りフィルタ」が便利です。フィルタメニューの「線補正」→「ゴミ取り」を選びます。

消しゴムツールで修正する。

次は、インクのかすれや、ペン入れの失敗部分を消しゴムで修正していきます。
これは、地道にやっていくしかないなので、頑張りましょう。



失敗した部分や消す線は、ペン入れ時に
バツ印などをつけておくと分かりやすいです。

修正が終わったら、次はいよいよ仕上げです。